　　　年　　　月　　　日

（誓約書様式（表））

泉大津市長　殿

住所又は事務所所在地

商号又は名称

氏名又は代表者名

電話番号

住所

誓　　約　　書

私は、中小企業等経営強化法に基づく私の「先端設備等導入計画」を泉大津市から認定を受けるにあたり、泉大津市暴力団排除条例第１条の目的等を承知したうえで、次に掲げる事項を誓約します。

１　私は、「先端設備等導入計画」の作成及び認定申請に際して、暴力団員又は泉大津市暴力団排除条例施行規則第３条各号に掲げる者のいずれにも該当しません。

２　私は、泉大津市暴力団排除条例施行規則第３条各号に掲げる者の該当の有無を確認するため、泉大津市から役員名簿等の提出を求められたときは、速やかに提出します。

以上

○泉大津市暴力団排除条例（抜粋）

（誓約書様式（裏））

（目的）

第1条　この条例は、暴力団による不当な行為その他暴力団を利する行為を防止し、及びこれらにより市の事務若しくは事業、市の区域における事業活動又は市民の生活に生ずる不当な影響を排除することその他の暴力団の排除に関し、基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、暴力団の排除のために必要な事項等を定めることにより、社会全体で暴力団の排除を推進し、もって市民生活の安全と平穏を確保するとともに、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とする。

○泉大津市暴力団排除条例施行規則（抜粋）

（暴力団密接関係者）

第3条　条例第2条第3号の規則で定める者は、次のいずれかに該当する者とする。

1. 自己若しくは第三者の利益を図り又は第三者に損害を加える目的で、暴力団又は暴力団員を利用した者
2. 暴力団の威力を利用する目的で、又は暴力団の威力を利用したことに関し、暴力団又は暴力団員に対し、金品その他の財産上の利益又は役務の供与(次号において「利益の供与」という。)をした者
3. 前号に定めるもののほか、暴力団又は暴力団員に対し、暴力団の活動を助長し、又は暴力団の運営に資することとなる相当の対償のない利益の供与をした者
4. 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有する者
5. 事業者で、次に掲げる者(アに掲げる者については、当該事業者が法人である場合に限る。)のうちに暴力団員又は1号から前号までのいずれかに該当する者のあるもの

ア　事業者の役員(業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、当該事業者に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。)

イ　支配人、本店長、支店長、営業所長、事務所長その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、営業所、事務所その他の組織(以下「営業所等」という。)の業務を統括する者

ウ　営業所等において、部長、課長、支店次長、副支店長、副所長その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、それらと同等以上の職にあるものであって、事業の利益に重大な影響を及ぼす業務について、一切の裁判外の行為をする権限を有し、又は当該営業所等の業務を統括する者の権限を代行し得る地位にある者

エ　事実上事業者の経営に参加していると認められる者

1. 前各号のいずれかに該当する者であることを知りながら、これを相手方として、条例第2条第4号に規定する公共工事等に係る下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結した事業者